

機器紹介

平成29年度共用機器として、医学研究科にスピニングディスク型共焦点超解像システム(SpinSR10)が国内1号機として導入されます。本機器は、従来の光学顕微鏡の分解能(200nm)を超える画像を取得することができ、今まで以上に組織や細胞のオルガネラなどを正確に捉えることが可能です。

<特長>

- ・光ダメージが少なくかつ高速撮影が可能
- ・培養装置を付属しており、タイムラプス観察が可能
- ・屈折率が細胞に近い特性をもつシリコンオイルを使用した対物レンズを備え、より高解像度での観察が可能

<仕様>

SpinSR10 (オリンパス株式会社製)

レーザー：405nm, 488nm,
561nm, 640nm

対物レンズ構成：10倍、20倍、40倍、
60倍、100倍

超解像方式：CF-SIM

スピニングディスク超解像

検出器：カメラ (ORCA-Flash4.0)



セミナーの案内 (予定)

- 新機種導入に伴い、機器取扱セミナー(装置の使用方法の説明会)を開催します。

日付：3月19日(月)

場所：医学研究科・医学部研究棟1階
電子顕微鏡室

AM 11:00~

共焦点レーザー顕微鏡 (FV3000)

PM 2:00~

超解像顕微鏡 (SpinSR10)

PM 4:00~

超解像顕微鏡 (SpinSR10)

セミナーの予約方法、4月以降の機器取扱セミナーについては、後日ご案内致します。

医学研究科・共同研より

利用可能機器は、予約システムに登録されています。従来の共同研装置についても、研究科を超えた利用が可能ですので、是非お気軽にご利用下さい。

問い合わせ

共用機器センター (事務局学術課内)

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

☎ 8104 (山田)、8041 (高木)

✉ core_lab@med.nagoya-cu.ac.jp

✉ ncu_kyoyo@sec.nagoya-cu.ac.jp